

第26回 漢字指導法研究会全国アカデミー

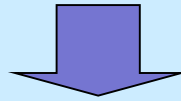
漢字教育の基本提案 (一部)

# 漢字指導の役目

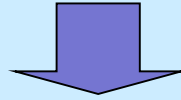
2010年8月8日

榎本 祐也

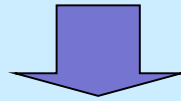
# 国語科教育の本質



## 漢字指導の役目



## 問題の解消・理念の具現化



### 提案1

計画的に指導時間を確保し、  
配当漢字の指導に軽重をつける

### 提案2

1セット五過程方式

### ◆漢字指導の困難

- ・指導漢字が多い
- ・指導漢字が難解
- ・指導時間の不足
- ・詰め込みと諦め

### ▲児童の悩み

- ・学習漢字が多い
- ・学習漢字が難解
- ・学習時間の不足
- ・意欲の低下

### ◇教師の願い

- ・子どもたちみんなに、漢字の力、言葉の力をつけたい。
- ・じっくり指導したい。

### △児童の願い

- ・1文字をじっくり学習したい。
- ・使えるようになりたい。

# 「常用漢字が追加されると、 学校現場はどうなりますか？」

- ・授業日数より、新出漢字数が多いので、1日1字の指導では間に合わない現状
- ・1日2文字でも「混乱しちゃう」、「1日1文字がいい」という子どもの声
- ・5年生1学期 82字を72日で指導
- ・どうやって、子どもの力をつけてやれるのでしょうか。
- ・子どもの努力次第？ そのうち書けるようになる？

全ての子どもたちに力をつけてあげたい。  
十分な時間がない。どうしたらよいのか？

字数そのものも増え、内容も難しくなる  
中学年からの漢字を、限られた時間の中  
で、いかに指導するか。

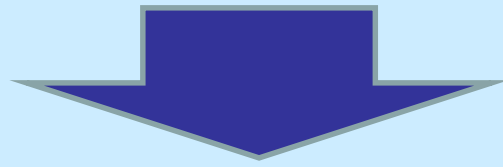


## 提案 1

**計画的に指導時間を確保し、  
配当漢字の指導に軽重をつける**

# 計画的に指導時間を確保し、配当漢字の指導に軽重をつける

とくに時間をかけて指導する漢字	時間をかけて指導する漢字	指導に時間をかけない漢字
<ul style="list-style-type: none"> <li>●国語科の授業で1時間に2文字を指導</li> <li>●2週間に1単位時間程度(1学期は8単位時間実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国語科の授業の一部を使って指導</li> <li>●1文字を10分程度で指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●放課前の明日の連絡の時間などで扱う</li> </ul>
1セット5過程方式	1セット5過程方式	字形, 読み, 意味, 言葉, 例文を教えるのみに留める
Aランクの漢字	Aランクの漢字	B, Cランクの漢字
<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的意味合いのとくに高い漢字 (例:基・資・質)</li> <li>・学習用語として汎用性の高い漢字 (例:現・情・解・接)</li> <li>・多義の漢字 意味の変転を経た漢字 (例:勢・経・性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多義の漢字</li> <li>・抽象的意味の漢字</li> <li>・汎用性の高い漢字</li> <li>・新しい概念をもつ漢字</li> <li>・各教科にわたる学習用語を構成する漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的意味の漢字 (例:河・件)</li> <li>・汎用性の低い漢字 (例:貿・易・陰・潔・仏)</li> </ul>
<b>5年1学期の例</b>		
勢絶現情像解基準可精 資質経過示性など	銅移団謝確群舌独保護 報適査判断復師預句接 備造職再任製圧減など	寄修似容潔張許可河件 統際益築構提述仏往徳 貿易評価夢規則属興講 総混燃仮素逆編陰など



## 提案 2

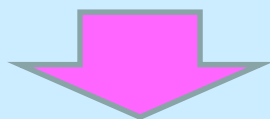
# 1 セット五過程方式

- ・小学校1年生から中学生まで使える指導方式
- ・子どもたちが互いに高め合う指導方式

- ① 読みかた(音訓同時指導)
- ② 意味
- ③ 字形(手首化)
- ④ 漢字語の学習(ことば集め)
- ⑤ 文への応用(短文作りと発表)

# 漢字指導の役目

基礎となる日常漢字と抽象的漢字の指導を  
ていねいに積み重ねる。



子どもたちの学ぶ意欲を高めていく。  
子どもたちの思考力・表現力を高めていく。

子どもたちは、みんな  
できるようになりたいのです。